

## 補助金支出明細書

1.補助金の名称	広域的新事業支援連携等事業費補助事業
2.事業の目的及び内容	平成21年度広域的新事業支援連携等事業費補助事業
(1)目的	産業クラスター計画の推進によって形成してきた産学官のネットワークを活用し、産学連携、産産連携をより一層促進して、製品開発型企業群の研究開発力強化や、優れた加工技術を保有する基盤技術型企業群の技術力向上をより強固に推進し、当該地域が新規産業創出の基盤として真に発展するための所用の事業を実施した。
(2)具体的な内容	<p>① クラスタ・サブ・マネージャー配置事業</p> <p>「産業クラスター計画」の中核的役割を担う推進組織であるTAMA協会と連携して、TAMAの高度なネットワークによる産学連携・産産連携を促進し、クラスター参画企業の研究開発支援、新事業創出支援、販路開拓・海外展開支援、人材育成支援等を効果的に実施するため、事業部門を統括するクラスター・サブ・マネージャーを配置した。</p> <p>また、クラスター・サブ・マネージャーは、TAMAクラスターエリア内の拠点組織や支援機関・商工団体等による一定の地域内におけるネットワーク形成の促進・強化の支援を行うとともに、TAMAクラスターエリア外の支援機関等とのネットワーク強化(広域連携)も進めた。</p> <p>② 特許流通アドバイザー配置事業</p> <p>中堅・中小企業の新製品・新技術開発あるいは産産連携において、知的財産を有効活用し、技術シーズ・企業ニーズを発掘しながら、特許利活用を活性化させ、TAMA地域内の産学連携・企業間連携の一層の促進を図った。企業訪問調査を主体とした技術シーズ・企業ニーズの収集・蓄積、内容の分析、事業企画助言、技術契約助言並びに技術移転のコーディネートを行った。一方、大学のリエゾンや知財本部訪問、自治体・金融機関等の支援機関とのコミュニケーションを図り、地域での特許利活用のしくみ作りをTAMA協会と連携を取りながら支援した。</p> <p>さらに、TAMA地域外で実施され、クラスター参画企業が一同に会するクラスターフォーラム等に参加し、TAMAクラスターに参画する企業の技術課題解決につながる技術シーズの収集し、TAMA地域で把握した知的財産の有効活用を促進した。TAMAクラスターにおける新製品・新技術の開発及び事業化促進のため、技術移転コーディネートの広域化を進めた。</p> <p>③ 製品・技術交流スクエア事業</p> <p>高度な技術・製品開発力をもつ中小企業と、大手企業等との技術連携を推進し、TAMA地域中小企業の研究開発や技術開発の促進を図った。具体的には、技術面での知見を有する専門家(TAMAコーディネータ)を活用して、中小企業の強み(コア技術・製品)の特徴を、1枚の「製品・技術PRレポート」に集約し、この情報をもとに、Web活用による中小企業の製品・技術開発力の発信を行い、大企業と中小企業、中小企業同士の連携の促進を図った。さらに、個別コーディネート等を通じてマッチング後の共同開発支援等を実施した。</p> <p>また、地域の支援機関等と連携し、この事業で実施する「製品・技術PRレポート」の作成を通じて、TAMAクラスターの活動に資する有望企業の発掘を行い、クラスター活動参画企業の拡大を進めた。</p> <p>また、事務局を支援して本事業を効果的かつ強力に推進するため、技術面・経営面の専門的知識と、連携の中心となる大手企業とのネットワークをもつ調査員を配置した。調査員は、本事業の充実を図り、活用案件の拡大につなげるため、TAMAクラスター以外で実施されている類似の事業との連携も視野に入れた広域的な活動も行った。</p>

		<p>また、本事業の実施効果を上げるため、高度な技術的知見を有するTAMAコーディネータにより、「製品・技術PRレポート」に基づいて企業の技術・製品の評価を実施するとともに、有望な技術・製品をもつ企業について、連携等の支援戦略の検討を行った。</p> <p>新しく発掘された中小企業の特異な製品・技術を専用Webページを活用し、タイムリーかつ広く情報発信した。さらに、コーディネータや調査員、事務局による個別コーディネート等を通じてマッチング後の共同開発支援等を実施した。</p> <p>また、TAMA地域内外の支援機関等と広域的に連携し、「製品・技術PRレポート」の作成を通じて、クラスター活動に資する有望企業の発掘を行い、クラスター活動参画企業の拡大を進めた。</p> <p>さらに、今年度は、大手企業のニーズである「環境対応技術」について取り上げ、具体的な技術の優位性を発信できる「環境技術PRレポート(環境力見える化レポート)」を作成し、環境技術等の情報発信・連携促進を行った。その中から、環境大賞を選定し、環境サミット(TAMA産学官金サミット)において表彰し、環境力をもつTAMA地域・TAMA企業をPRした。</p> <p>また、事務局を支援して本事業を効果的かつ強力に推進するため、技術面・経営面の専門的知識と、連携の中心となる大手企業とのネットワークをもつ調査員を配置した。調査員は、本事業の充実を図り、活用案件の拡大につなげるため、TAMAクラスター以外で実施されている類似の事業との連携も視野に入れた広域的な活動も行った。</p> <p>また、本事業の実施効果を上げるため、高度な技術的知見を有するTAMAコーディネータにより、「製品・技術PRレポート」、「環境技術PRレポート」に基づいて企業の技術・製品の評価を実施するとともに、有望な技術・製品をもつ企業について、PR活動や連携等の支援戦略の検討を行う委員会を設置した。</p> <p>具体的な連携ニーズに対しては、推進組織がコーディネートを管理・推進し、必要に応じて、技術的な課題に対応できるTAMA-TLOと連携しつつ、クラスター・サブ・マネージャーやコーディネートの専門人材(TAMAコーディネータ)を活用して事業化実現につなげた。</p> <p>④ 新事業創出サポート事業</p> <p>新事業創出や創業を目指す事業者に必要なビジネスプランの構築と、資金調達・受発注・販路拡大などの課題別やVC・商社・受発注元購買担当など対象別に、的確で効果的なプレゼンテーションを行う技術を習得するために、事業評価を行う専門家チームを設置し、専門家から個別・具体的なアドバイスを受けてビジネスプランを作成するセミナー・コンテストを開催した。さらに優れたビジネスプランについては、VCや商社とのマッチング会を開催し、資金調達・ビジネスパートナー獲得の支援を行った。</p> <p>⑤ 中核的人材育成事業</p> <p>新事業の企画立案ができる人材の育成を目的として、企業経営者や将来の経営者候補となる中核的人材を対象に、自社のビジネスプランの的確なポジショニング(導入期、成長期、発展期、衰退期)や、新たな発想に基づくビジネスプランの構築ができるスキルの習得のため、大企業や成功企業の経営者や有識者等によるセミナーや集中講義、新たなビジネスプランを構築するためのケーススタディ、実際の成功企業への現地視察を交えた経営者等とのフリーディスカッションなど、継続的、定期的な指導を実施した。</p> <p>⑥ イノベーション創出サポート事業(地域特性活用・重点テーマ研究会創出事業)</p> <p>企業の競争力を伸ばし、新事業創出につながる、将来的ニーズの高いテーマを掲げたビジネ</p>
--	--	---

研究会を実施した。研究会は、喫緊の地域課題・企業課題、将来的に有望な技術課題、最新のビジネスアイデア等をテーマにして、複数(医療機器デバイス研究会、環境ものづくり事業運営委員会、)の組織を運営した。TAMAコーディネータ等の専門的知見やコーディネート能力をもつ専門家と推進組織事務局が中心となって目標管理・進捗管理・個別運営を行う小集団による定期的な活動を実施したことにより、参加企業間の連携強化が進められ、企業間の活動が活性化しただけでなく、企業が求める支援ニーズについて深く把握することができ、今後の効果的な支援事業の企画・実施につなげることができた。

また、研究会参加企業や研究会テーマの発掘のため、専門家(TAMAコーディネータ)や事務局による企業訪問を積極的に実施した。

また、拠点事業にて組成し、かつ、地域の自発的活動に移行する「厚木地域の環境関連の研究会」に対しても、推進組織やクラスター・サブ・マネージャー、専門家等による情報提供などを通じて、事業連携を図るとともに、活動の支援を行った。

#### ⑦ 販路開拓支援事業

中国上海市場への販路開拓を実施するため、現地機関と協力しながら上海企業等との商談会を行い、連携促進・販路の開拓を進めた。これら連携促進・販路開拓をスムーズに進めるため、事前に上海ビジネス研究会を定期的実施するなど、中国経済等に知見を有する専門家やコーディネータを活用し、綿密な調査・研究を行った。

また、クラスター参画企業の高度な技術力をEU等への販路開拓に十分に活かすため、世界的レベルの工業デザイン力をもつ企業やデザイン学校等との連携の可能性等についての調査を現地企業に委託して実施した。

#### ⑧ 経営課題解決支援事業

経営や研究開発、生産管理等の専門的知識を保有する中小企業診断士や技術士、大手企業OB等の産業支援人材をTAMAコーディネータとして組織化し、会員企業に派遣することによって、自社のソリューションのみでは解決することが困難な経営課題に対し、適切な解決に向けたコーディネートを行った。

特に、新事業創出を実現するための研究開発・技術開発の支援や、ITや知財を活用した経営力の強化支援、中小企業の喫緊の課題である人材確保・育成支援、企業の成長・発展に不可欠な販路開拓支援に注力した。

特に、研究開発支援については、技術力をもっていたにもかかわらず、これまで、補助金申請をしたことのない有力企業の申請書作成に関して支援を実施した。

販路開拓支援については、他地域のクラスターと連携し、より広域なネットワークを活用するとともに、TAMA地域内外に留まらず海外展開も視野にいれた、より難易度の高い販路拡大支援を行ってクラスター参画企業の事業拡大を強力に推進した。

平成21年度当初は、昨年からの世界的な不況の影響が残っていたことから、会員企業に与える影響を考慮し、緊急企業訪問を実施し、緊急に解決しなければならない課題に対する支援を行った。

事務局による積極的な企業訪問を実施して、TAMA地域の企業がもつ共通課題の抽出や、優れた製品や技術を持つ中小企業の発掘を行い、新事業活動を活性化し、事業拡大を実現するための経営課題解決支援事業につなげた。

さらに、企業の経営課題解決をコーディネートするTAMAコーディネータのスキルアップを図るとともに、企業の重点課題や、国などの支援施策などの情報共有を図るためコーディネータ

	<p>連絡会議を開催した。</p> <p>また、本事業の一環として、現代の企業経営における重要度の高いテーマ(環境経営・環境技術、商談戦略、海外展開)を採り上げ、高度な専門知識を有し、かつ、中小企業の支援に役立つソリューションを提供できる人材によるセミナーを実施した。</p> <p>また、クラスター活動に参画する企業等の拡大を促進するため、事業の紹介や成功事例、先進事例を纏めた冊子、パンフレットを作成し、関連組織(大学、支援機関等)の協力を要請して、広くTAMAクラスターの活動の周知を図った。</p>	
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人首都圏産業活性化協会	
4. 交付実績額	51,303 千円	
5. 補助金における管理費		
	(1)人件費	0 千円
	(2)一般管理費	0 千円
	(3)その他の管理費	
	内容	金額
		千円
		千円
	合計	千円
	合計	0 千円
6. 外部への支出		
	(1)外部に再補助されているものに関する支出	
	支出内容	支出先
		金額
		千円
		千円
	合計	0 千円(B)
	(2)(1)以外の支出	
	支出内容	支出先
	委託料	金額
		1,795 千円
	委託料	473 千円
	委託料	1,079 千円
	委託料	700 千円
	委託料	210 千円
	合計	4,257 千円
7. その他		
	内容	金額
	専門家・調査員謝金、旅費	40,565 千円
	施設借上料	1,634 千円
	合計	42,199 千円
8. 再補助の割合	0 %(B/A)	

※国からの補助金等の年間収入比率 31.3%(年間収入額 163,538 千円)